



日帰りの沢としては秀逸

谷川連峰 小出俣川・センノ沢

浅井

【日時】 2010年10月2日 (土)

【メンバー】 L小暮、笹川、浅井

小出俣川のセンノ沢はマチホド沢の大滝の手前で右岸から入っている支流である。白山書房の「奥利根・谷川連峰の沢」に紹介されており、それを見ると適度に滝もあり日帰りの沢としては面白そうなので、今回小暮さんが選んでくれた。私は以前マチホド沢に行った時に大滝の巻きでセンノ沢の最初の滝は登ったことがあるので、その先がどうなっているのか楽しみである。

朝、前泊した赤谷湖畔の駐車場から川古温泉付近の駐車場まで車で入る。6:10、出発。千曲橋までは林道を歩く。千曲橋の手前から沢沿いに踏み跡をたどるがすぐに不明瞭になったので、ここから沢に入ることにした(7:20)。10mの滝を巻き、しばらく進むと大ヒラナメのセンが沢一杯に広がる。私は二度目だが、やはり気持ちのよい所だ。今回は全員アクアステルスだが、所々ぬめっており、傾斜のある所では意外と滑りやすいので要注意。大ヒラナメのセンが終わると赤茶けた8m滝が現れる。下段がぬめった感じに見えたので登るのを躊躇していると、小暮さんがすいすいと登っていった。見かけほどは滑らないようだ。上段は立っているのでロープを出してもらった。

沢の兩岸が立ってきて地形が険しくなると、やがて前方にマチホド沢の大滝を仰ぎ見るようになる。8:30、3段100mの大滝下に着く。この大滝は何度見ても人を拒絶するような険悪な滝だ。私は前回行った時はこの大滝は登らずに、センノ沢の出合の滝とその先の20m滝を登って途中から尾根を越えて大滝上に出た。小暮さんと笹川さんも以前マチホド沢には行っているとのことだが、この大滝をどのように越えたかは記憶がないという。

小休止の後、出合から滝が連なるセンノ沢の遡行開始。まず出合の2段10m滝をロープを付けて小暮さんがリード。右壁を登るが、上段は草交じりの急傾斜の岩を登る感じで気が抜けない。ここはアクアステルスのフリクションがよく効いた。

その上の小滝を登ると、今度は20m滝にぶつかる。私は前回この滝を登ってから右の尾根を越えてマチホド沢に戻っている。下から見ると簡単に登れそうだが、意外といやらしい登攀だったのを覚えている。私があるので、最初はロープなしでも行けると思った小暮さんもロープを付けてリードした。ここも右壁沿いにルートをとる。小暮さんのルート取りは的確で、途中の灌木に支点を取って、すいすいと滝上に抜けた。ここは下部が立っており、ややテクニカルな登攀を強いられるが、幸いアクアステルスのフリクションがよく効いた。草交じりの上部は前回同様見かけよりよいやらしかった。ここはガイド本に記されているように4級くらいのピッチグレードだろう。

20m滝を越えてしばらく進むと今度は30m滝にぶつかる。これは上部は傾斜がゆるい

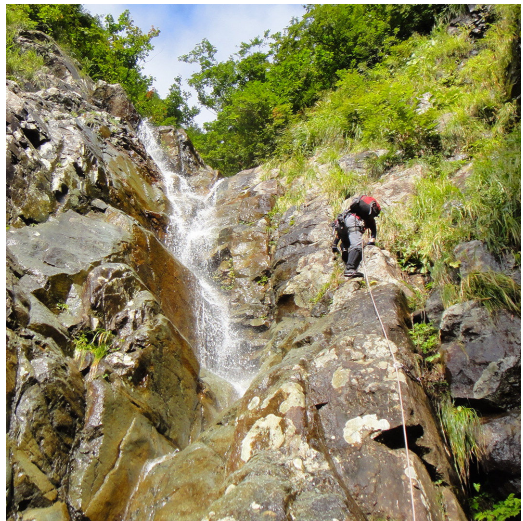
が、下部は傾斜がきつくおまけに黒い岩がぬめっていて滑りやすい。ガイド本では水流沿いを登っているようだが、左から簡単に巻けるので、我々はあっさり巻きを選択した。

30m滝を越えると今度は20mチムニー滝にぶつかる。水流はだいぶ細くなっているが、岩が鋭角に深くえぐられており、なかなか面白い眺めの滝だ。ここはガイド本の記述通り、左岸のリッジから取り付く。最初は傾斜がゆるいので、少し登った所をビレー点にして、ここも小暮さんがリードした。岩は乾いており、アクアステルスのフリクションが頼もしい。上部はやや傾斜の強いフェイス状になるが、幸い灌木があるので、それに助けられた。チムニー滝の上のチョックストン滝はそのまま灌木伝いに巻いて、沢床に下りた。

その先、ナメや小滝を越えると、今度は40mのナメ滝が現れた。これは傾斜がゆるく、多段になっているので、左に右に自在にフリーで楽しく登れた。その先には階段状の20m滝。これはフリーで楽に越えられた。その先はナメ状の流れとなり、最後に20mのナメ滝にぶつかった。これも傾斜はゆるいのでフリーで楽しく登れた。ナメが続くこのあたりはマチホド沢の上部にも似ている。これで主な滝は終わり。あとは源頭のの小滝をいくつか越えて、ヤブを少し漕ぐと、13:10、稜線に出た。ここは登山道のない稜線で、三尾根岳と1621との間のコルと思われる。

下山はガイド本と同じルートで、反対側にあるイラクボ沢目指して下降する。稜線付近の斜面で小暮さんがブナハリの大群生を見つけた。やがて沢型が出てきてイラクボ沢の本流に合流した。イラクボ沢は特に悪場もなく下降に適した沢だ。中流部にはいくつか滝があり、何度か懸垂もしたが、残置があったので、ガイド本の影響で人がそこそこ入っているのかもしれない。沢の下降は意外と時間がかかり、赤谷川林道に出た時は薄暗くなりかけていた(16:45)。ここはちょうど林道の終点である。昔赤谷川本谷や笹穴沢に行った時に通った所なので懐かしい。あとは林道をてくてく歩いて、18:10、川古温泉の先の駐車場に戻った。

センノ沢はそこそこ手ごたえのある滝が連なり、なかなか面白い沢だった。近場の日帰りの沢としてはお勧めの一本です。



★下部の20m滝をリードする

【グレード】2級上

【行程】川古温泉手前の駐車場(6:10)～入渓(7:20)～20m滝上(9:30)～20mチムニー滝下(10:10)～40mナメ滝下(11:20)～稜線(13:10)～赤谷川林道(16:45)～駐車場(18:10)

【地形図】三国峠、水上